

年 組 名前：

林さん「リズム取り書く」

企画展開幕 手書きのこだわり語る

山梨市出身の作家林真理子さんの業績を紹介する企画展「まるごと林真理子展」(山梨県立文学館主催)が11日、甲府・同文学館で開幕した。この日、オープニングトークが行われ、林さんが登壇。展覧会の見どころや作品について語り、「今まで、多くの作家の展覧会に行っただけで、このような立派な展覧会はない。いろいろな人に声を掛けてくださったら幸いです」と呼び掛けた。

今展では大河ドラマの原作となった小説「西郷どん!」など、数多くの直筆原稿が並ぶ。聞き手を務めた三枝昂之館長は「右手が勝手に動きたす」という林さんの執筆に関する発言を紹介し、「プロ中のプロの名言」と称賛。林さんは「尊敬する田辺聖子先生がおっしゃっていたように、神様が降りてくることがある。リズムを取りながら書いているから、機械は介在したくない」と手書きへのこだわりを語った。

三枝館長は文学にとどまらず、幅広い活躍を続ける林さんの「パワーの源は文学」と指摘。文学の魅力を問う三枝館長に、林さんは「新型コロナウイルス禍の中でも売りが伸びている。文学は魂に寄り添う芸術で、人の心にぴたっと張り付く。それが文学の力」と答えた。

企画展は11月23日まで。
〈田辺彩子〉

(2020年9月12日付 山梨日日新聞 25面)

問1

山梨市出身の作家林真理子さんは、文学の魅力は何だと言っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

問2

林さんは、なぜ手書きにこだわるのですか。

.....

.....

.....

.....

.....

問3

林さんが直木賞を受賞した作品は①～④のうちどれですか。1つ選んでください。

- [] ①「星影のステラ」
- [] ②「ルンルンを買っておうちに帰ろう」
- [] ③「最終便に間に合えば」京都まで
- [] ④「葡萄が目にしみる」